

「2017グランプリ・デュッセルドルフ」で 新井千鶴選手が優勝！

2月24日（金）～26日（日）にドイツ・デュッセルドルフで開催された「2017グランプリ・デュッセルドルフ」に当社女子柔道部（監督：柳澤 久）から鍋倉那美選手（63kg級）、新井千鶴選手（70kg級）、高山莉加選手（78kg級）が日本代表として出場し、新井千鶴選手が優勝、鍋倉那美選手と高山莉加選手が3位に入賞しました。

【大会結果詳細】※IJF（国際柔道連盟）ランキングは大会出場時点⇒現時点です。

新井千鶴 選手 優勝（70kg級・IJFランキング1位⇒1位）

第1シードの新井選手は、初戦（2回戦）ベルンホルム選手（スウェーデン・同40位）にゴールデンスコア（延長戦）の末、谷落で技ありを奪い優勢勝すると、3回戦はディエドリッチ選手（ドイツ・同27位）に縦四方固で一本勝。準決勝では、バンディジュケ選手（オランダ・同22位）に内股で一本勝し、決勝へ進出。決勝はガヒエ選手（フランス・同4位）に横四方固で一本勝を収め、2年ぶり2度目の優勝を果たしました。

鍋倉那美 選手 3位（63kg級・同28位⇒19位）

初戦（2回戦）ウルダバエバ選手（カザフスタン・同30位）に横四方固で一本勝すると、3回戦はリオデジャネイロオリンピック金メダリストのトルステニャク選手（スロベニア・同1位）に大外落で技ありを奪い優勢勝。準決勝ではトラジドス選手（ドイツ・同14位）に小内刈で技ありを奪われ優勢負けしました。気持ちを切り替え臨んだ3位決定戦では、津金恵選手（筑波大・同44位）と対戦し、ゴールデンスコアの末、指導2を奪って優勢勝。3位入賞となりました。

高山莉加 選手 3位（78kg級・同10位⇒6位）

第3シードの高山選手は、初戦（2回戦）をシメレバ選手（ロシア・同48位）に縦四方固で一本勝すると、3回戦はマロンガ選手（フランス・同17位）に大内刈で一本負け。敗者復活戦では、アマンゲルディエバ選手（カザフスタン・同28位）に横四方固で一本勝。続く3位決定戦では、パウエル選手（イギリス・同5位）と対戦し、横四方固で一本勝し3位入賞となりました。

以上



優勝した新井千鶴選手（左から2番目）



決勝：攻めにいく新井千鶴選手



3位の鍋倉那美選手（右端）



3位の高山莉加選手（右端）

「写真：アフロ」